

サロンウォールシステム施工案内

腰壁材

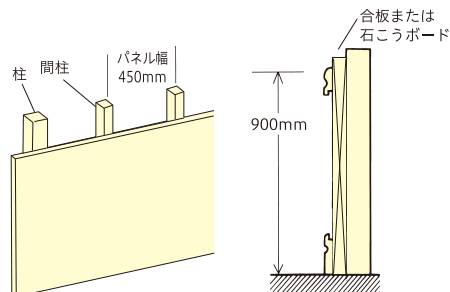
Salon Wall System

サロンウォールシステム施工方法

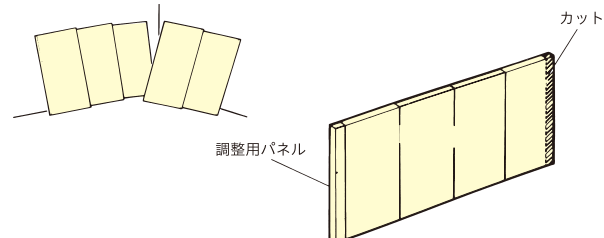
■商品ページ→P075



1. 下地材は合板または石膏ボードを使用してください。
(表面が平滑に仕上げられ、簡単に施工できます。)



2. 壁間の長さを測り、パネルを間口寸法に収まるように割り付け、仮並べて色・柄のバランスを確認してください。うまく納まらない場合は、パネルの端部をカットするか、調整用パネル等を用いて割り付けてください。

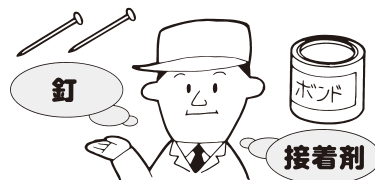


3. 色・柄のバランスと納まりを確認したら、施工します。
(現地調達品)

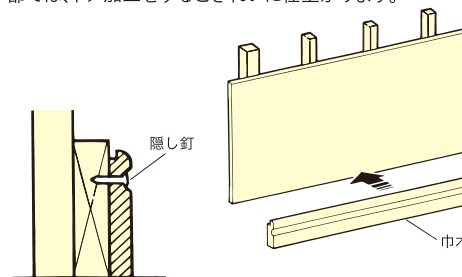
接着剤: ゴム系または酢ビ系

釘: 接着剤の場合 = 仮釘

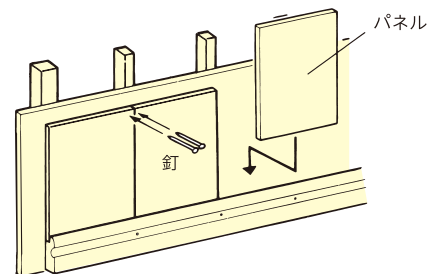
接着剤と釘を併用する場合 = 釘頭が目立ちにくい、
隠し釘やカラーネイルをご使用ください。



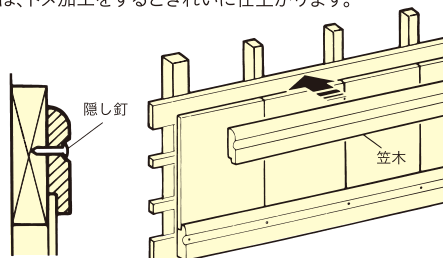
4. 巾木を必要寸法に切断し、接着剤・隠し釘等で固定してください。
隠し釘を打つ際、巾木の溝部分に打ちますと釘が見えにくくなります。
コーナー部では、トメ加工をするときれいに仕上がります。



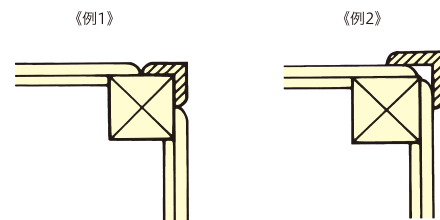
5. 巾木上部の溝にパネルを差し込み接着剤・隠し釘などを使い、端より貼り始めます。パネルの継ぎ目が、開いたりしないように貼ってください。
パネルは接着剤が固まるまで仮止め用釘等で固定してください。
接着剤がはみ出た場合は、その部分が変色することがありますので、
素早く拭き取ってください。



6. 笠木を必要寸法に切断し、接着剤・隠し釘等で固定してください。
隠し釘を打つ際、笠木の溝部分に打ちますと釘が見えにくくなります。
コーナー部は、トメ加工をするときれいに仕上がります。



7. 出隅等必要に応じて、接着剤・仮止め用釘・隠し釘等で固定してください。



使用上の注意と日頃のメンテナンス

1. 日頃のメンテナンスは、柔らかな乾いた布でカラ拭きをしてください。特に汚れの酷い場合は、中性洗剤を水で薄め、固く絞った雑巾で行ってください。
2. 水に濡れた場合や結露水が生じた場合は、すぐに乾いた布で拭き取ってください。そのまま放置しておきますと、シミや変色、カビ、ひび割れなどの原因となりますのでご注意ください。
3. セロハンテープなどは、表面をキズつける場合がありますので、ご使用を避けてください。
4. 商品は木質系で、多少の寸法誤差や形状変化等があり得ますことをご了承ください。
5. 商品を乱暴に取り扱わないでください。